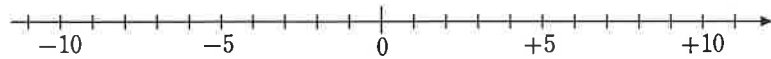


8 次の数直線で、点 A, B, C, D, E の表す数を答えなさい。



9 次の数を表す点を、下の数直線に示しなさい。

- (A) +6 (B) -3 (C) $+\frac{5}{2}$ (D) -7.5 (E) $-\frac{9}{2}$



10 次の数の絶対値を答えなさい。

- (1) +18 (2) -3.2 (3) $+\frac{13}{5}$ (4) $-\frac{9}{4}$ (5) 25

11 絶対値が次の数になる数をすべて答えなさい。

- (1) 2 (2) 17 (3) $\frac{4}{5}$ (4) 0 (5) 7.2

12 次の値を求めなさい。

- (1) |+9| (2) |-13| (3) |+1.8| (4) |0| (5) $|\frac{1}{3}|$

13 次の各組の数を、絶対値の小さい方から順に左から並べなさい。

- (1) -6, +2, +8, -3 (2) $+\frac{2}{3}$, $-\frac{3}{5}$, -0.65, 0

14 次の各組の数の大小を、不等号を用いて表しなさい。

- (1) -4, 3 (2) 7, -6 (3) -2, -5

- (4) $-\frac{7}{4}$, 1.8 (5) $-\frac{5}{12}$, $-\frac{2}{5}$ (6) -0.6, $-\frac{2}{3}$

15 次の各組の数の大小を、不等号を用いて表しなさい。

- (1) 1, -4, -2 (2) -4, 5, -6 (3) -2, $-\frac{5}{4}$, -3

- (4) -0.99, -1, -0.999 (5) -2, 0, 1.5, -3.3 (6) $-\frac{7}{15}$, $\frac{3}{7}$, 0.5, -0.5